

【同時発表】

経済研究会(内閣府内)
官邸記者クラブ
国土交通記者会
国土交通省交通運輸記者会



お知らせ

2016年7月1日
総合海洋政策本部事務局
国土交通省
日本財団

「海の日」行事“海と日本プロジェクト”を開始します

海をテーマに100を超えるイベントを全国各地で展開

総合開会式により幕開け

総合海洋政策本部・国土交通省・日本財団は、次世代を担う子供たちを中心に、多くの人の海への好奇心を喚起することを目指した「海の日」行事“海と日本プロジェクト”を開始いたします。

本プロジェクトは、総合海洋政策本部・国土交通省・日本財団が主催し、関係省庁や自治体、各種団体、企業、大学等の産学官民の協働による海に関する多様なイベントに取り組んでいこうとするものです。

今年は、下記の通り、総合開会式で幕を開け、さまざまなイベントを全国で開催いたします。

※下記の1, 2, 3については、ご取材の受け付けは別途ご案内いたします。

記

	イベント名・日時	場所	イベント概要など
1	総合開会式 (主催:総合海洋政策本部) 7月18日(月・祝) 10:00~10:30	東京港晴海客船 ターミナル4階多目的ホール	○趣旨: ・総合海洋政策本部が主催する「海の日」行事“海と日本プロジェクト”の総括的行事 ・海洋国家としてのメッセージを、次世代を担う青少年に向けて発信 ○内容:「海の日」のメッセージ ・島尻 安伊子 海洋政策担当大臣(予定) ・石井 啓一 国土交通大臣(予定) ・笹川 陽平 日本財団会長(予定) ○聴衆:小中高生及びその保護者を中心に約400名 ※ご取材の受付は別途ご案内いたします

2	「海の日」記念祭 7月18日(月・祝) ① 海の船一斉公開 10:30～17:00 ② 海上保安政策課程 一期生の成果報告会 10:30～11:00	① 東京港晴海埠頭 ② 海上保安庁巡視船 内	詳細別紙1をご参照ください ※ご取材の受付は別途ご案内いたします
3	海の人材育成に関する 国際シンポジウム ① 7月19日(火) 9:30～17:10 ② 7月20日(水) 9:00～17:30	ザ・キャピトルホテル東急 (東京都千代田区)	詳細別紙2をご参照ください ※ご取材の受付は別途ご案内いたします
4	全国各地でのイベント http://uminohi.jp/		(1) 海と日本プロジェクトサポートプログラム 〔主催:日本財団〕 海を未来へ引き継ぐための下記5つのアクションを設定し、 公募した43都道府県125件の事業を展開 ①海を学ぼう！②海をキレイにしよう！③海を味わおう！ ④海を体験しよう！⑤海を表現しよう！ 各事業の詳細は別紙3をご参照ください (2)海と日本プロジェクト特別推進パートナー(協賛団体)によるイベント 本プロジェクトの趣旨に賛同し、協賛する団体が行うイベント。詳細別紙4をご参照ください。

〔ロゴマークが意図すること〕



美しい海を表すブルーと日本を表す赤い丸を配置することで「海と日本」を表現しました。丸を基調としたフォルムは水のイメージと親しみやすさを、さんずいを飛沫形にすることで動きのある行動的なイメージを表現しています。かけがえのない海と日本の関係をより深く考えていこうという思いをこめました。

お問い合わせ先：

(総合開会式)

内閣官房総合海洋政策本部事務局 高橋・勢田 TEL. 03-6257-1942

(「海の日」記念祭・海の船一斉公開)

国土交通省海事局海技・振興課海事振興企画室 加納・佐藤・鈴木 TEL. 03-5253-8946

(「海の日」記念祭・海上保安政策課程)

海上保安庁総務部教育訓練官付 喜志多・冨田 TEL. 03-3591-6369

(国際シンポジウム、海と日本プロジェクトサポートプログラム)

日本財団 海洋チーム TEL. 03-6229-5152 国際シンポジウム / 中廣・石川・有川
サポートプログラム / 宗近・青木

「海の日」記念祭

別紙1

趣旨

- ・小中高生及びその保護者の海洋に対する関心を高める
- ・アジアの海上保安機関との連帯

◎ 場所 : 東京港晴海埠頭

◎ 日時 : 2016年7月18日(月・祝)

◎ 内容(1) 海の船一斉公開(10:30~17:00)

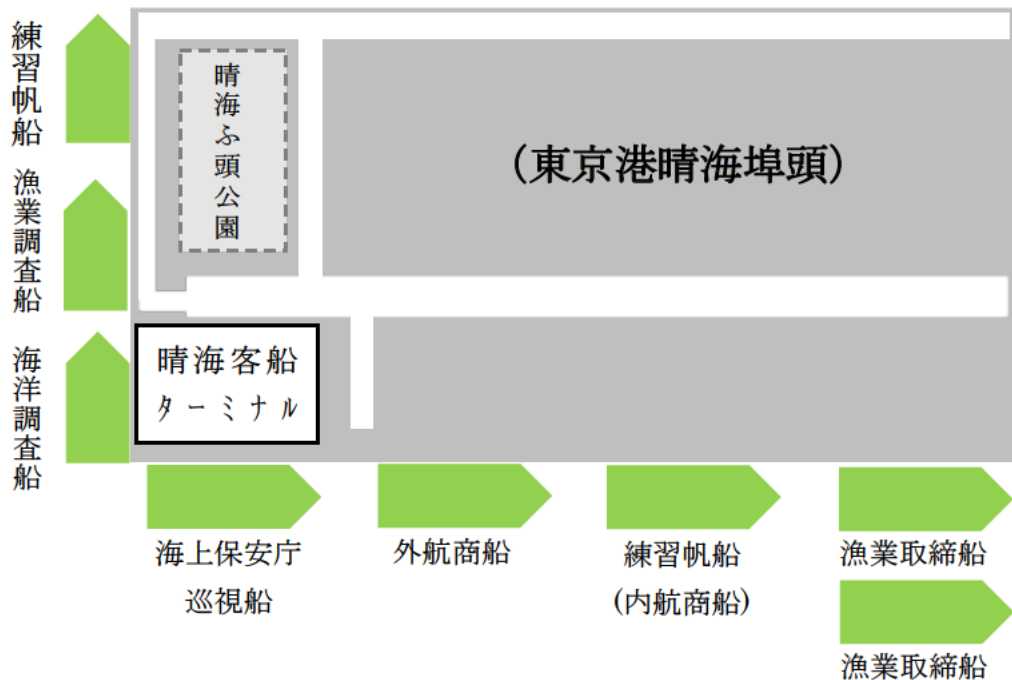
- ・船の一斉公開・体験乗船
- ・海洋セミナーの開催

参加者 : 主なターゲットは、小中高生及びその保護者

(2) 「海上保安政策課程」一期生の成果報告会

2015年10月に開講した修士プログラム「海上保安政策課程」の第一期生(フィリピン、マレーシア、インドネシア、ベトナム及び日本の海上保安機関から初級幹部が参加)代表者による成果の報告

〔来賓(予定)〕 国土交通大臣、海洋政策担当大臣、日本財団会長、
総合海洋政策本部参与会議 座長



「海の人材育成に関する国際シンポジウム」



趣旨

海のキャパシティビルディング（人材育成）に関する課題について国際的に議論を行う。

プログラム(案)

7月19日(火) 於：ザ・キャピトルホテル東急(東京)

1. 開会式

9:30～(予定)

2. テーマ 「持続可能な海洋管理」をテーマに4つのセッションを開催

- セッション1 海洋生物資源管理
- セッション2 海洋環境の保護
- セッション3 政策につなげるための科学
- セッション4 気候変動への対応

3. レセプション(招待制)

18:30～(予定)

7月20日(水) 於：ザ・キャピトルホテル東急(東京)

4. セッション 「教育と連携」をテーマに3つのセッションを開催

- セッション5 子供など若年層や地域に関連した取り組み
- セッション6 分野横断的な教育・トレーニング
- セッション7 多様な利害関係者によるグローバルな取り組み

5. 特別セッション：「次世代を見据えた海洋教育」のあり方

6. 閉会式

16:35～(予定)

○聴衆 国内外から約300名が参加予定

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
1	全国	海のポスターグランプリ「うみぼすグランプリ」の開催	海洋連盟	ポスターの作り方ワークショップ: ①5月10日 16:30~18:00 ②6月14日 16:30~18:00 ③7月2日 14:00~17:00 ④7月3日 8:30~12:30	「地元の海をスターにしよう」をテーマに、全国各地の海の魅力を表現するポスターのコンテストを開催。一般部門に加え、子ども部門や簡単に応募ができるアプリ部門を設置し、2,000点以上の応募を目標とする。審査員は安倍昭恵総理夫人ら著名人が務める。全国各地で500名を対象にポスターの作り方のワークショップも開催。 ①②東洋大学にて開催 ③④神津島にて開催
2	全国	「ブルーシーフードガイド」海洋環境保護教育プログラムの普及活動と魚食教育	セイラーズフォーザシー日本支局	①6月~ ②8月3日 ③7月24日	持続可能な魚食文化について子供たちが楽しく学ぶ機会を提供するため、以下の事業を実施する。 ①京都大学学生食堂にて約200名を対象にブルーシーフードを用いた学食メニューの提供 ②ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて、約100名を対象にブルーシーフードを用いたランチメニュー提供 ③気仙沼で約200名を対象にブルーシーフードを用いた食事体験会の開催 *ブルーシーフード:資源量が豊富で絶滅のおそれが少ない魚介類
3	全国	瀬戸内次世代教育プログラムの実施	SETOUCHI次世代教育プログラム実行委員会	7月24日~25日	瀬戸内海の価値を認識し、瀬戸内海を守るための行動を起こす子供・若者を増やすことを目指して、瀬戸内海沿岸の各県内(島根、鳥取、岡山、徳島、香川、広島、山口)で海に関する工作体験、シーカヤックや救助訓練の体験、海岸清掃等の複合的なプログラムを実施する。各県40~120名参加予定。
4	全国	家庭・学校・地域への「海の日」と「海の安全」教育を推進するための「全国一斉事業」の開催	ブルーシー・アンド・グリーンランド財団	①6月~9月 ②7月24日 14:00~14:01	多くの小中学生が、安全に楽しく海に親しめるようになることを目的に、以下の事業を実施する。 ①全国の小学校のプール等にて、「海の安全」を学ぶ教室や、教員を対象とした研修会を開催(170校10,000名) ②参加者3,000名を目標に、全国各地で一斉に「1分間ペットボトル浮遊体験」を行いギネス記録登録を目指す。
5	全国	瀬戸内海の日アート・体験プログラム	瀬戸内海の日アート・体験プログラム実行委員会	①7月~8月の土日 (1泊2日) ②10月30日~31日 ③7月24日14:00~18:45	子供たちやその保護者に海とのふれあいの機会を提供するために、以下の事業を実施する。 ①400名を対象に瀬戸内の海においてアート・歴史・環境学習をテーマにしたクルーズの実施(山口、広島、愛媛、徳島、兵庫)。 ②自治体連携クルーズ(高知県) ③周防大島町(橘ホール)にて400名を対象にシンポジウムを実施し、海とアートとのつながりを多くの人に感じてもらう。
6	全国	「恋する灯台」プロジェクト	日本ロマンチスト協会	5月~11月 ※11月1日に恋する灯台 SHORT FILM2016を都内で 開催	灯台の文化・歴史的価値を可視化し、新たにブランド化することで海洋観光の機運づくりに資することを目的とし、全国の灯台のうち、魅力のある20の灯台を「恋する灯台」として認定。灯台を活かした観光コンテンツの企画開発を行なう。「恋する灯台」のショートムービーを撮影し、11月1日(灯台の日)に上映会を開催する他、自治体等が利用できる観光素材として提供するためプロのカメラマンによる恋する灯台の写真撮影も実施する。
7	全国	水中ロボット競技会と水中ロボットセミナーの開催	日本水中ロボネット	①8月26日10:00~17:30 8月27日13:30~17:30 8月28日9:00~17:30 ②8月27日10:00~12:30	次世代の水中工学と水中ロボット技術の発展を目的として、主に中高生を対象に、以下の事業を実施する。 ①横須賀市(JAMSTEC)で水上ロボット競技会の開催(120名) ②都内で「ロボット工作教室」や「最新水中ロボット技術とその動向」というテーマで水中ロボットセミナーを開催(100名)
8	全国	海の教室	海洋連盟	①7月27日~8月1日 ②7月31日~8月1日 ③8月17日~8月19日 ④8月20日 ⑤8月~9月のうち 2泊3日と1泊2日 計2回 ⑥9月~10月のうち1日	子ども達が、楽しみながら海に親しむとともに、海の文化・環境・ゴミ問題等を知り、そして学ぶことを目的に、全国6箇所(島根県海士町、山口県油谷、千葉県館山、岡山県笠岡、秋田県八峰町、沖縄県久米島)で、各地の特色を活かした、郷土の海、海の文化、歴史などを題材とした学習クイズや乗船体験等を計500名を対象に実施する。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
9	全国	日本さばけるプロジェクト	日本さばけるプロジェクト実行委員会	6月～10月	世界の食文化で引き継がれてきた「魚をさばく技術」を改めて価値あるものとして発信・伝承することを目的として、服部栄養専門学校(東京)および全国調理師養成施設協会に加盟する全国の学校との連携のもと、主に父子を対象とした魚のさばき方を中心とした魚の料理に関する講座を展開(参加者 渋谷区500名、全国20都市計1,000名)。修了者には「さばけるライセンス」を発行し、さばける人はカッコいいというムーブメント化を図る。 また、youtube上に「日本さばけるチャンネル」を設置し、100魚種のさばき方の動画を制作、配信する。
10	全国	全国各地のセーリング大会における親水事業の実施	日本セーリング連盟	6月下旬～8月末 (青森、宮古、東京、伊豆大島、江ノ島・葉山、伊豆、津、富山、高浜、大阪、和歌山、広島、愛媛、唐津、錦江湾、宮城、蒲郡、牛窓など)	次世代を担う子どもに、海や船を身近に感じてもらうことを目的として、各地のセーリング大会に併せ、全国約20カ所で計10,000人を対象にヨット教室や体験乗船(クルーザー、ディンギー、カヌー)などの親水イベントを実施する。また、地域の海の幸試食会、海浜清掃、海上写生大会なども実施予定である。
11	全国	#beORANGE(ハッシュビーオレンジ)オレンジ色をシンボルとした津波防災の啓発活動	防災ガール	①7月～10月 ※7月18日に代々木公園およびお台場周辺にてオープニング行事を開催 ②8月27日～28日 ③11月5日 (津波防災の日)	①津波防災のムーブメントを生み出すため、若者、行政、メディアと連携して防災ワゴンで高知、愛知、静岡を巡回し、現地のキーパーソンと共に地域住民600名を対象にした防災の意識啓発ワークショップを展開。沿岸地域の防災コミュニティを形成する。 ②東京大学にて、内閣府連携イベントの実施(1500名) ③東京にて約300人を対象に、津波防災イベントを開催。「津波対策＝オレンジ」のイメージ普及を図る。
12	全国	海の熱中症対策「給スイカ」	環境メディアフォーラム	7月27日11:00～16:00 以降順次展開	スイカが熱中症予防に最適であることに着目し、海辺における熱中症予防の啓発と安全に海を楽しむ知識の向上に寄与するため、7月27日の「スイカの日」に東京ミッドタウンでライフセイバーが海辺の熱中症対策を呼びかけ、スイカを配布する。同日、30ヶ所の海辺で給スイカステーションを設置し、全国計23,000名を対象にスイカを配布しながら、海辺での安全の啓発活動を行う。その後全国で50団体を募集し同ステーションを展開する。
13	全国	この地球で一番大きな工業製品『船』を見に行こう	日本中小型造船工業会	7月18日(JMU磯子) その他約40箇所	次世代を担う子どもたちに船づくりへの関心を持ってもらい、海や船、地元産業の大切さを認識してもらうことを目的に、全国一斉造船所見学会を開催。計5,000人を対象に溶接体験、レゴブロック模型船作成や湾内乗船といった様々な活動を実施する。
14	全国	家族対抗はだし運動会	イクメンクラブ	7月31日 新潟 8月27日 三重 9月22日 山形 10月下旬 千葉 11月20日 東京(お台場)	海辺で家族愛を育むことのできる機会の創出を目指して、各地(東京都お台場、新潟県新潟市、三重県尾鷲市、千葉県千葉市、秋田県秋田市)の自治体と連携しながら各回100人を対象に家族対抗で「はだしてアニソンエクササイズ」、「パパとママのおんぶ徒競走」、「叫んで飛ばせ！ビーチサン跳ばし」など各種競技を実施する。
15	全国	ビーチゲームズ日本招致推進プロジェクト	日本ビーチ文化振興協会	①5月5日10:00～16:00 ②5月22日9:00～15:00 ③6月18日13:00～20:00 ④7月9日10:00～16:00 ⑤7月30日9:00～16:00 ⑥7月31日9:30～16:00 ⑦8月27日9:00～16:00 ⑧9月17日9:00～16:00 ⑨9月18日9:00～16:00 ⑩9月22日9:00～16:00 ⑪10月29日9:00～16:00	ビーチスポーツを通じた海浜の賑わいづくりと活性化を目的として、ビーチテニス、ビーチバレー、ビーチサッカー等のビーチスポーツを全国で実施する。あわせて、ビーチゲームズの招致活動も行なう。 ①ビーチスポーツフェスティバル@東京都港区(15,000名) ②ビーチマラソン@茨城県鹿嶋市(850名) ③ビーチマラソン@京都府京丹後(850名) ④ビーチスポーツフェスティバル@京都府京丹后市(1,500名) ⑤ビーチスポーツフェスティバル@富山県富山市(1,500名) ⑥ビーチスポーツフェスティバル@新潟県新潟市(1,500名) ⑦ビーチスポーツフェスティバル@大分県別府市(1,500名) ⑧ビーチスポーツフェスティバル@新潟県柏崎市(1,500名) ⑨ビーチスポーツフェスティバル@茨城県ひたちなか市(1,500名) ⑩ビーチスポーツフェスティバル@山形県酒田市(1,500名) ⑪ビーチスポーツフェスティバル@千葉県千葉市(1,500名)

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
16	全国	全国一斉シーバードデイ 2016の開催	パーソナルウォー タークラブ安全協会	6月25日、26日 7月30日、31日 全日程10:00～15:00	全国の海浜、水域において地域の子供たちに海と親しむ機会を提供することを目的に、シーバードと呼ばれる水上バイクを用いた社会貢献活動を行なっている各地域で、子ども向けの水上バイク体験乗船会、ビーチクリーン、親水イベント等を実施する。 6月25日@館山市北条海岸 6月25日@新島村前浜海岸 6月25日@福岡マリーナ 6月25日@熊本県葦北郡鶴が浜海水浴場 6月25,26日@山口県下関市ホテル西長門リゾートビーチ 6月26日@山形県グリバーさがえ及び周辺最上川 6月26日@大阪府摂津市淀川河川 6月26日@高知県大川村～土佐町・さめうら湖 7月30日@静岡県御前崎マリンパーク 西ビーチ 7月30,31日@富津市富津 明治記念展望塔付近の砂浜 7月30,31日@徳島市上助任町天神(旧吉野川橋袂) 7月31日@北海道おたるドリームビーチまたはその周辺海域 7月31日@新潟県新潟市中央区 日和山浜海岸 7月31日@神奈川県三浦郡葉山町の海水浴場(森戸、一色、大浜、長者ヶ崎) 7月31日@神奈川県鶴沼西浜海岸 江ノ島 7月31日@佐賀県伊万里湾内 7月31日@愛媛県松山市近隣海水浴場場所:全国20か所(予定)の海、湖、河川、その他水辺
17	全国	全国大型海岸清掃プロジェクト「海の日ごみゼロアクション2016」の実施	greenbird	6月～10月	児童・一般の海ごみ問題への関心を高めることを目的に全国でNPO、自治体等と連携し、全国各地の海岸、沿岸部で清掃活動を展開する。児童参加型アートプロジェクトの要素や海外での活動といった要素を加え、5～9月の間に300,000名の参加を目指す。
18	全国	海のごみ拾いの全国展開	海さくら	7月～9月	きれいな海を次世代の子ども達に引き継ぐとともに、もっと楽しくビーチクリーンを行なうことを目的に、プロレスラー・力士・テニスプレーヤー・サッカーチームなどと協力したビーチクリーンを全国(神奈川県・大阪府・宮城県・兵庫県・岡山県・北海道・福島県・新潟県・東京都・滋賀県・岡山県・沖縄県他)で15,000名の参加者と共に実施。さらに、木魚のリズムにあわせたゴミ拾いやサンタのコスチュームでゴミ拾い等楽しみながら参加できる多様なゴミ拾い活動を展開する。
19	全国	知的障がい児のためのサーフィンスクール	Ocean's Love	①6月4日 神奈川県 ②6月12日 宮崎県 ③6月18日 神奈川県 ④7月3日 宮崎県 ⑤7月10日 島根県 ⑥7月16日 神奈川県 ⑦8月7日 北海道 ⑧8月28日 愛知県 ⑨8月28日 宮崎県 ⑩9月10日 神奈川県 ⑪9月18日 和歌山県 ⑫9月24日 神奈川県 ⑬10月2日 宮崎県 全日程7:00～15:00	サーフィンスクールを通して知的障害を理解し、障がい児の可能性を広げることを目的に、プロのサーファー、知的障害を持つ子どもとその家族、さらに健常者ボランティアがともになって、知的障害児を対象としたサーフィンスクールを全国各地で実施する。
20	全国	日本の海岸が一番きれいになる日	海上保安協会	6月を中心に順次開催	自治体、地元教育機関、NPO法人海さくら他全国の環境保全団体、海上保安庁等多様な団体と連携して、海をきれいにするために、全国60ヶ所で計6,000名が海浜清掃、収集ごみの分類調査等を実施する。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

地域	行事名	実施団体	期間	内容
全国	海の宝をめぐる学びと体験、スロー・マリン・ラーニング	北海道大学	①7月17日,18日9:00~16:00 ②7月18日13:00~16:30 ③7月23日,24日10:00~15:00 ④8月6日,7日8:00~17:00 ⑤7月2日11:00~3日15:00 ⑥7月28-29日10:00~17:00,8月8-9日11:00~18:00 ⑦7月20日-8月末のお盆期間を除く(調整中) ⑧8月10-17日7:00~20:00,9月15-22日7:00~20:00 ⑨7月17-24日9:00~17:00 ⑩8月20-28日8:00~19:00 ⑪8月20日17:00~18:30 ⑫7月23日15:00~18:00 ⑬11月13日8:30~12:00 ⑭10月1日10:00~17:00(調整中) ⑮10月2日10:00~15:00(調整中) ⑯8月29日-9月4日,10月9-16日,11月7-13日 ⑰7月10日10:00~16:00	海の宝を発見することができるような主体的・協働的な学び「スロー・マリン・ラーニング」を提供することを目的として、全国の中学生、高校生各回100~500名を対象に海に関する体験学習を実施する。また、海に関する自由研究を募集し、優秀者を集めて函館において秋に研究発表大会も開催する。あわせて、海藻の写真展やマリンスポーツを行なう。 ①「房総の海と森の物語」展覧会・写真展@千葉県千葉市 ②講演会「君も海藻博士」@千葉県千葉市 ③函館マリンフェスティバル@北海道函館市 ④パドルボートで海の宝物探し@静岡県静岡市 ⑤沿岸観察界@青森県むつ市 ⑥「海の宝」マリンブルーフェスタ@北海道札幌市 ⑦「メガマウスに聞いた海のお話」@大阪府大阪市 ⑧「北の魚の赤ちゃんと海藻の世界」@北海道函館空港 ⑨「北の魚の赤ちゃんと海藻の世界」@北海道函館市海洋センター ⑩はこだて国際科学祭2016企画展「海をたべよう」3つの海が育むもの@北海道函館市 ⑪サイエンスライブ@北海道函館市 ⑫海を味わおう@青森県むつ市 ⑬海の宝アカデミックコンテスト@北海道函館市 ⑭海と船と星を巡るプラネタリウム@北海道函館市 ⑮海や船や星と科学を伝える人のためのワークショップ@北海道函館市 ⑯海の宝、海藻ファクトリー@北海道函館市 ⑰むつ研究所施設一般公開@青森県むつ市
北海道	海洋観光大学東日本キャンパス	海洋観光大学東日本キャンパス実行委員会	未定	高校生・大学生を主な対象に、北海道・東北地区における産業および交流人口の増大に寄与する人材を育成し、学生達が創造するアイデアや仕組等が地域を活性化させるため、旅行プランの公募を行なう。その後、上位8チームによる成果・研究内容の発表を行い(発表者、聴講者計230名)、最優秀プランは商品化をめざす。 また、函館と青森の小中学生80名を対象とした海に関するツアーを実施し、両県の海をテーマとした交流を行う。
北海道	海と日本プロジェクトinガッチャンコ北海道	海と日本プロジェクトinガッチャンコ北海道実行委員会	8月3日~5日	「ほっかいどうの海を学び隊！」 小樽・積丹地域にて東海大学の学生リーダーのもと小学校5、6年生約28名が3日間で海に関する様々な体験・調査を行い海の現状を伝えるツールやオリジナルソング制作、自治体への提言を行う。
青森県	海と日本プロジェクトin青森	海と日本プロジェクトin青森実行委員会	7月18日~9月中旬	「あおり海育キャラバン」 青森県沿岸を海の専門家のチームがラッピングカーで巡回しながら、10地域の小学校の授業の中で、地元の海について考える出前授業を展開。最後に子供たちが地域の海の魚を模写し、その魚が泳ぎ出すプログラムも実施。10月1日あるいは2日に、知事参加のもと、クロージングイベントを実施予定。
青森県	海の生き物学習会の開催	みなとオアシスおおみなと観光振興事業実行委員会	7月16日 10:00~15:00	一般の子ども達への海に対する好奇心を喚起させ、海の大切さや重要性を効果的に認識してもらうため、子ども達2,000名を対象に郷土の海・港・生き物について学ぶ体験型授業を実施する。
青森県	青森港・港内学習事業の実施	青森港国際化推進協議会	7月~8月	子どもや若者たちを中心に、青森港を新たな学習の場とし、青森港の活性化と海への関心を高めることを目的に、青森港にてクルーズ船の船内を見学し、青森の観光素材や文化体験等を調査するワークショップを10名の中高生を対象に実施。参加者は船内におけるプレゼンコンテストで学んだ内容を発表する。 あわせて、高校生計80名を対象に外国客船内での通訳体験等を実施する。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
27	岩手県	海と日本プロジェクトin岩手	海と日本プロジェクトin岩手実行委員会	未定	①「三陸海のドライブマップの作製」 県内高校・大学の写真部等が主体となり、三陸の海の魅力を可視化するドライブマップを作成する。 ②「三陸ぐるっと食堂」 三陸の海の幸から水産業の復興の歩みを学ぶことができるイベントを開催する。
28	岩手県	海の体験会の開催	大船渡青年会議所	7月24日 10:30～16:30	大船渡市にて、子ども達に遠ざけられた海との接点を取り戻すことを目的として、東日本大震災で被害を受けた大船渡市浪板海岸の海開きを行なうと共に、海の職業体験(ホタテ養殖場見学等)、海岸清掃やヨット、シーカヤック等多様なアクティビティを実施する。
29	岩手県	久慈の海における学習会等の開催	久慈みなと・夏まつり実行委員会	7月10日10:00～14:00 7月17日10:00～14:00	久慈市の海岸や市街地において当市の情報を発信し海の大切さを認識させるため、海洋生物教育(2,500名)や久慈港洋上見学・久慈港水揚げ生物の観察(10,000名)・防災教育・マリンスポーツ(5,000名)等多様なアクティビティを実施する。
30	宮城県	中高生が作る海の家プロジェクト	Organization for Activation Support In Shichigahama	4月～7月、計7回	宮城県七ヶ浜町にて、地元中高生(中学生30名、高校生50名)が海の家を制作することで、地元の海と地域との関係を紡ぎ直すきっかけをつくることを目的に、七ヶ浜町で海を家の製作と活用に向けたワークショップを開催し、地元住民へのヒアリングと資料閲覧等を通じてアイデアを形にする。その後、海を家の製作と活用を行なう。あわせて、海浜清掃と海洋環境の勉強会も行なう。
31	宮城県	宮城海の楽好(がっこう)の開催	地球の楽好	6月～9月	宮城県において海の豊かさを再認識・体験できる機会を提供するため、宮城県沿岸域の子どもたちに海の生物について、学ぶ機会を提供する。地元の自然保護協会、石巻市及び七ヶ浜町生涯学習課との連携のもとお魚料理教室(240名)やアクアリーダーを育成するアクアキッズ研修会(80名)を開催する。
32	宮城県	海と日本プロジェクトinみやぎ	海と日本プロジェクトinみやぎ実行委員会	未定	県内の小中学校において水中写真家・渡辺信次による海の恵みと被災後の海に関する出前授業を実施。授業を受けた生徒の中から希望者を対象に仙台うみの杜水族館で海との絆に関するワークショップを行う。
33	秋田県	にかほ海の学習会の開催	にかほ海の幸まつり実行委員会	7月23日 10:00～15:00	海に関するスポーツを通して海とのつながりを認識してもらい、さらに海の幸の美味しさを県内外に広くPRすることを目的に、1,500名を対象として、秋田県にかほ市で海の学習会を開催する。内容は海の生き物お絵かき、子ども料理教室、養護学校の生徒を招待したカヌー教室等。
34	秋田県	海と日本プロジェクトin秋田	海と日本プロジェクトin秋田実行委員会	①7月17日～18日 ②7月15日～8月14日	①「中村征夫と考える！秋田の海を守る作戦会議&水中写真教室」 会場：17日 湯上市役所(海の恵特別記念講演)、18日 男鹿市戸賀湾(水中写真教室) 内容：秋田県湯上市出身の水中写真家「中村征夫」氏と一緒に「秋田の海はどうなっているのか」、「海や自然を守るためにどうしたら良いか」を参加者と共に考え環境保全への取り組みを実践していく機会としてイベントを開催。2日目には海中写真教室を開催。 ②「貝がらでつなげるアートステーション」 「私の海への誓い」～海の恵みを未来へつなぐ～ 会場：はたはた館・能代エナジウムパーク・てんのう(道の駅)・男鹿水族館GAO・みたね(道の駅)・あきた港(道の駅)・ポートプラザアクアパル・にかほと・秋田テレビロビー 内容：来場者に秋田県の海が抱える環境問題に対する「自分の約束」を貝殻に記入してもらい、貝がらを一枚のメッセージボードに飾りつけ貝がらアートボードを作成・展示する。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
35	山形県	湯野浜の海に関する学習会	湯野浜温泉観光協会	8月28日 19:00~20:30	湯野浜の子ども達に海を大切にすることを養うため、カヤック操縦(各回10名)や加茂水族館でのナイトツアー(60名)、漂着物観察(200名)、地引網(200名)などを行なう。
36	山形県	『西の堺 東の酒田』湊町復活(リバイバル)事業	「海の日」記念事業実行委員会	7月15日~9月4日	山形県酒田市において現代の湊町の新たな魅力を創造・発信するため、水中綱引き(100名)、漁業体験と地魚の講義、古来塩作り体験、クルーズ体験、ビーチフェス(3,000名)など様々な体験型イベントを期間中随時展開する。
37	山形県	海と日本プロジェクトin山形	海と日本プロジェクトin山形実行委員会	8月予定	「海とつながるミステリーツアー」沿岸部の小学生30名を最上川上流に、上流に住む小学生30名を庄内浜へと連れ出し、森、川、海をつなぐを学ぶツアーを実施。合同討論会の後、山形県へ提言を行なう。
38	山形県	全国海浜清掃活動の推進	海と渚環境美化・油濁対策機構	7月18日 早朝(予定)	全国に海浜及び河川の清掃活動を啓発し、安全な海浜清掃活動の推進を図るため、山形県酒田市もしくは鶴岡市で全国一斉海浜清掃旗揚げ式を開催する。また、海浜清掃ハンドブックやパンフレットを作成する。
39	福島県	アクアマリンの夏祭りー魚を楽しむ、海辺を楽しむ	ふくしま海洋科学館	7月16日~18日 8月中旬	魚食啓発、海洋資源の持続的利用への理解促進を促す事及び福島県の復活を後押しすることを目的に、魚と海辺を楽しむ約1,000名が参加する夏祭りを実施する。夏祭りでは、ハッピーオーシャンプログラム(旬の魚を調理し提供)や、調べラボ(魚貝類を展示、調理して提供、魚介類放射線量調査結果を紹介)、魚のつかみ取り体験(炭火焼きし提供)等を実施する。
40	福島県	海と日本プロジェクトinふくしま	海と日本プロジェクトinふくしま実行委員会	7月	「夜明け市場に海の星プロジェクト」福島の魚の風評払拭のため、県内の水産高校生が漁協、料理研究家、研究者等のサポートのもと、いわき駅前の復興飲食店街の14店において海に関する新メニュー開発を行い、PRキャンペーンを展開する。
41	茨城県	かしまビーチフェスタ2016	かしまビーチフェスタ実行委員会	5月22日 8月7日	広く人々に海の魅力を伝え、地域活性化や交流の推進を図ることを目的に、かしまビーチフェスタ・ビーチサッカーアントラズカップを茨城県鹿嶋市平井海水浴場で開催し、ビーチサッカー、ビーチランなどのビーチスポーツや、地引網体験、乗船体験、砂像体験、海岸清掃など様々なアクティビティを行なう。
42	埼玉県	サマーフェスティバル戸田の開催	戸田モーターボート競走場関係団体協議会	7月26日 9:00~15:00	海のない埼玉県で生活する子供たちがゴムボート等を通じ、海洋スポーツをはじめとした様々な海の世界に興味を持つきっかけを目的に、ボートレース戸田にておよそ1,000名が参加するサマーフェスティバルを開催する。内容は、ゴムボート試乗会、模型ボート競技大会、科学体験、荒川プッチクルーズ、環境教室、映画上映、親子カヌー教室等。
43	千葉県	千葉港を知る体験見学会の開催	海の月間活性化検討会	8月6日、7日	千葉港において若者や子どもたちに海の魅力を体感・実感してもらい、その大切さや重要性について認識を高めてもらうために、海を知ろう!1日プラン、半日プランを開催する。主な内容は、千葉県警音楽隊による大成丸歓迎セレモニー、大成丸の一般観覧、千葉海上保安部巡視船による乗船見学、海上保安に関する講習、千葉振興協会による千葉港周遊クルーズ等。参加者見込みのべ1,200名。
44	千葉県	小学生を対象とした理科の修学旅行の開催	柏の葉サイエンスエデュケーションラボ(KSEL)	7月16日 7:00 ~18日 19:00	小学校で理科の授業が行われる小学3~6年生の児童45名を対象に、海を中心とする水圏環境や、自然現象に触れ、科学的な好奇心や思考力・知見を育むため、千葉県立鴨川青年の家にて理科の修学旅行を行なう。内容は、座学、体験学習(潮の満引観察、海岸でゴミ拾いを行い、過去の海流観測データを基にゴミの廃棄された場所を予想する、など)、振り返り学習会等を実施。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
45	東京都	海活推進プロジェクト	海活推進プロジェクト実行委員会	7月15日 LINE LIVEによる動画配信	海の問題を理解し自ら考えて行動を起こすと共に、海の楽しさを伝えていくことを「海活」と称し、「海活」を推進する人や企業・団体を増やしていくことを目的に「海活推進プロジェクト2016 LINE LIVE」を実施する。海への思いや問題意識を持ち、すでに海活を実施している著名人・文化人をまじえて、ファクト調査の結果を活用しながら、子供や若者を中心とした一般の生活者向けに「海活」の重要性を伝えるトークライブを開催。LINE LIVEを活用した動画配信を行う。
46	東京都	多摩川河口観察会	府中水辺の楽校運営協議会	8月26日 9:00～16:30	中流域と河口域の自然を体感することで水辺の活動をさらに活発にし、自然環境への理解を深めることを目的に、ボートレース平和島、しながわ水族館で水上スポーツ見学会(約100名)、水生生物見学会や干潟環境学習会(約50名)を実施する。
47	東京都	東京の水辺・天王洲で海を考えるイベントの開催	天王洲・キャナルサイド活性化協会	7月15日17:00～21:00 7月16日11:00～21:00 7月17日11:00～21:00 7月18日11:00～21:00	海の魅力を発信することを目的に、天王洲キャナル夏フェス～CINEMA CARAVAN in 天王洲～を実施する。内容は、パネルディスカッション「クジラと地球を生きるのだ」、海辺の映画館、海の魅力を伝えるアート展示(写真、映像等)等。参加者見込み計13,000名。
48	東京都	葛西臨海水族園「Night of Wonder」特別企画「SEA LIFE STAGE シーライフステージ」	東京動物園協会	8月13日～15日 各日18:30～19:30	海や海洋生物について学びを深めてもらうため、葛西臨海水族園特設ステージにて延べ1,000名の子供たちを対象に、海洋生物の専門家や水中写真家によるトークショー、実験、館内や東京湾の生物の夜の様子の映像放映や解説などを実施する。
49	神奈川県	海洋開発をテーマとした産官学連携イベントの開催	海洋都市横浜うみ協議会	7月22日～23日	一般になじみが薄い海洋開発の裾野を広げ、子どもたちの地元の海や海洋産業に対する興味関心を促進することを目的に、「海洋都市横浜うみ博2016」を横浜市大さん橋国際旅客ターミナルで開催し、海洋開発に関連する最新の取り組みを展示・紹介や船舶の展示・公開等を行なう。来場者見込みは10,000名。
50	神奈川県	鎌倉・海の寺子屋、カーニバルの開催	ルートカルチャー	7月～8月の土日 (計10回程度)	海の魅力を再確認・再発見を目的とした鎌倉 海のカーニバル2016「海のアカデミア」を鎌倉市内で実施。内容は、海の絵本制作やビーチコーミング特別授業、漂着ゴミで照明アートや楽器製作、海に関するコンサート等。来場者見込み約2,400名。
51	神奈川県	つながる森里川海プロジェクト	そっか	5月～12月 ※7月8日～10日に「森里川海まつり」開催	子供たちが常に海とつながり、主体的に学ぶ仕組みづくりを目指して、逗子海岸で大人向け、小学生向け、未就学児向けに夏の海を様々な切り口で楽しみながら学ぶプログラムを展開する。また、地域の子どもが海の体験を企画し大人のサポートのもと実施する「海の子ども会」や就園前の親子を対象に、海や磯を安全に楽しむことを学ぶ自主保育を実施する「海のようにえん」を開催する(各イベント20名～40名)。 ※7月8日～10日に地域内における各取り組みを集約、発信するためのイベントとして森里川海まつりを開催。
52	神奈川県	三浦半島における漁港の理解促進	リディラバ	6月～8月 各1回 計4回	「海のフェアトレード」を意識した消費行動を生み出すことを目的として、神奈川県横須賀市で「海のフェアトレード」を学ぶ、三浦半島スタディツアーを開催する。内容は、現場の生産者・加工業者との交流、生産・加工現場の見学(マグロの冷凍庫体験、マグロの加工場見学(解体)、ひもの・塩辛作り体験)等。(各回20名計80名)
53	神奈川県	映画「氷川丸ものがたり」上映会in横浜	100万人の「氷川丸ものがたり」上映を支援する会	7月～9月 各2回 計12回(各回300名)	映画を通じて海や船の魅力、海の仕事の誇りや船の重要性を伝えるため、横浜で「氷川丸ものがたり」の上映と海洋関係者によるトークセッションを実施する。また、横浜、海そして氷川丸をテーマに作文コンクールを実施し、最優秀、優秀、佳作を選出して表彰する。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
54	神奈川県	4県合同・関東海っ娘塾の開催	関東地区海っ子塾実行委員会	7月24日～26日	海のない4県の子ども達160名を横浜港に招き、海事産業への理解を育みながら、海の素晴らしさを伝えることを目的に、横浜港周辺で「関東海っ娘塾」を開催し、帆船日本丸での女性船員講話や港湾職業体験を実施する。
55	神奈川県	逗子海岸での海浜清掃と人文字アクションの実施	逗子海岸営業協同組合	2016年6月24日(逗子海岸海開き当日)10:00～11:00	逗子海岸で、地元小学生が海の重要性を再認識する機会を提供することを目的に、およそ200名を対象に神奈川県逗子市逗子海岸内で「海と日本プロジェクト 海のまち、逗子がつながる人文字アクション」を開催する。あわせてビーチクリーンも行なう。
56	神奈川県	海と日本プロジェクトinかながわ	海と日本プロジェクトinかながわ 実行委員会	6月～12月	「かながわシーガーディアン Save the seaプロジェクト」小学生のべ150名を八景島シーパラダイス館長よりシーガーディアンに任命。それぞれ海ゴミ、温暖化、海の仕事、森と海のつながり、漁業と海の生物、海と食文化の6つのプログラムに参加した後、「神奈川の海を守ろう新聞」を制作し、知事へ提出する。
57	神奈川県	海でつながるTシャツアート展	NPO砂浜美術館	5月～7月 計3回	身近な風景そのものを「作品」にし、海辺をアートスペースに変える「Tシャツアート展」を神奈川県内で開催する。Tシャツ250点を展示予定で、会場では大きな布に海を描くワークショップを実施。磯観察・海の安全教室・スポーツなど、海体験をTシャツにペイントする。来場者見込みはのべ60,000名。
58	神奈川県	潮風を知る、海学習とボート試乗会	よこすか市民会議	8月2日9:30～16:30 (荒天の場合翌日に延期)	横須賀で子どもたちが船と海に関する知識と体験を得ることを目的に、「海と日本プロジェクト 海を知ろう！クルーザーに乗ろう！夏休みおもしろ船教室 in Uraga」を横須賀市浦賀シティマリーナ「ヴェラシス」で実施。「船と海に関する基礎知識」の講義、小型水槽など実験装置を用いた実験や乗船体験(大型モーターボートに試乗し、講義・実験で学んだことを、船上で追体験)等を実施する。参加者約50名。
59	新潟県	海と日本プロジェクトin新潟	海と日本プロジェクトin新潟実行委員会	8月20日～23日	「佐渡こども新聞プロジェクト」小学生と保護者計36名が佐渡島の海に関する様々な文化を体験し、海と佐渡の生活の関わりという観点から「佐渡こども新聞」を制作。県内各所で掲示する。
60	富山県	トタバローネ氷見	ひみまつり実行委員会	7月30日～8月6日	富山県氷見市および宮城県石巻市の人々に多様な切り口から海の魅力を認識してもらうと共に、海を介して多くの人をつなぐ事を目的に、タバローネ(氷見の魚介の新メニュー開発・企画)、ツクローネ・トビコモネ(船作り、乗船体験、海への飛び込み体験)等、計6,000名が参加する様々な事業を期間中に順次実施する。
61	富山県	海と日本プロジェクトin富山	海と日本プロジェクトin富山実行委員会	7月30日10:00～16:00 7月31日10:00～16:00 8月6日10:00～16:00 8月7日10:00～16:00	「親子でチャレンジ！ヒスイ海岸トレジャーハンティング」日本列島誕生の歴史を知る宝石といわれるヒスイが打ち上げられる富山県下新川郡朝日町宮崎海岸で、合計800組1600名の親子を対象に、海岸の秘密を学ぶ1日体験型の教育プログラムを実施する。
62	石川県	海と日本プロジェクトinいしかわ	海と日本プロジェクトin石川県実行委員会	①未定 ②8月3日～4日	①「海の百万石・銭屋五兵衛の生涯から海を学ぶ」県内の親子20組を対象として、銭屋五兵衛の生涯から日本海の漁村の生活、食文化や海運業の今昔について学ぶツアーを実施し、海のかわら版を製作する。 ②海の恵み 伝統的塩作り体験と地引網ツアー 江戸時代から現代まで途絶えることなく作り続けている「揚げ浜式塩田」での塩づくりや、伝統的な干物づくりを通じて海の恵みを学ぶ1泊2日の体験型教育プログラムを実施。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
63	福井県	海と日本プロジェクトinふくい	海と日本プロジェクトinふくい実行委員会	7月18日～9月30日	「福井のおとましい井づくりプロジェクト」 福井県内全域の飲食店で、県内で水揚げされる不利用魚を使った「おとましい井」を開発し100店舗で展開。親子50組で「おとましい井」を作る料理教室も実施する。
64	山梨県	海と日本プロジェクトinやまなし	海と日本プロジェクトinやまなし実行委員会	8月	「山梨から海へつながる！子供探検隊」 県内の小学生20～30名を対象として、山梨の名産物「煮貝」に関する調べ学習や、県内の魚市場の見学等、山梨県と海の接点を学ぶことができる体験学習プログラムを実施。子供たちは豆記者として取材を行い、学びを山梨日日新聞の記事で発表する。
65	長野県	海と日本プロジェクトin長野実行委員会	海と日本プロジェクトin長野実行委員会	①、②共に8月中を中心に実施	①「つながれ！海っ子、山っ子」 天竜川・富士川を通じてつながる静岡県、黒部川を通じてつながる富山県の小学生と長野県内小学生が交流しながら水を介したお互いの地域とのつながりを学べるプログラムを実施。 ②NPO連携アクション 県内の30のNPOが海の教育プログラムを展開。
66	静岡県	海洋科学創造プロジェクトの実施	静岡商工会議所	7月18日 13:00～16:00	海の日意義を多く市民に啓蒙することを通じ、市民の海を愛する風土を育むことを目的に、海洋科学博物館・自然史博物館でガイドツアー(約80名)を開催する。あわせて、望星丸一般航海(約1,000名)・体験航海(約120名)、キッズセミナー「海のふしぎについて知ろう!」、JAMSTEC見学ツアー(約40名)等を開催する。
67	静岡県	海と日本プロジェクトin静岡県	海と日本プロジェクトin静岡県実行委員会	9月	「海の博士に聞こう！ぼくたちの海のひみつ」 県内の親子50組を対象として、駿河湾に関するテーマに沿って東海大学海洋水族館、沼津深海水族館への取材体験ツアーを実施。各館の海の博士から取材した内容をもとに情報発信ツールを制作する。
68	静岡県	つながる海の日プロジェクトin浜名湖	つながる海の日プロジェクト2016 in 浜名湖	7月18日	浜名湖周辺地域において水辺環境の魅力を発信するため、「つながる海の日プロジェクト2016 in 浜名湖」を開催する。内容は、ボートレース場におけるペアボート・模擬レース・ちびっこボート体験プログラムや浜名湖クイズラリー、子どもスキューバ体験等。来場者見込み13,000名。
69	愛知県	海でつながるプロジェクト2016 海・みなの・蒲郡	海・みなの・蒲郡実行委員会	7月17日 9:00～10:00	子どもたちに海に対する好奇心を喚起させ、「海の日」の周知啓発につなげる事を目的に、ボートレース蒲郡にて海岸清掃や水辺の安全教室、お絵かき水族館(子どもたちが書いた魚の絵を投影すると、その魚が動き始める)などを実施する。来場者見込み17,000名。
70	愛知県	ひと・人・ヒトヨット大会2デイズin蒲郡	ひと・人・ヒトヨット大会2デイズ実行委員会	5月～6月	障害者と健常者、障害者同士が海を舞台にセーリング大会で交流を図ることで、次世代を担う子供や若者などの海への好奇心を喚起することを目的に、ヨット大会(7月16、17日)や出前講座を開催する。内容は、海の魅力を感じ、人とのつながりを考えるものや、海に障害者および新たな人を呼び込むための魅力作りを考えるもの等。参加者見込み300名。
71	滋賀県	琵琶湖で学ぼう地球環境の保全	びわ湖トラスト	7月29日 8月15日 8月16日 8月17日 8月22日	滋賀県教育委員会及び大津市教育委員会と協力し、子どもたちが水資源の重要性や環境保全について学ぶことを目的に、カヌーによる湖岸調査、環境学習(琵琶湖に過剰に生えた水草の有効な管理方法の検討等)を実施する。(各回10名前後)
72	滋賀県	TUNAGARU ～海(湖)・地域・ヒト～「BIWAKO湖(うみ)フェス」	琵琶湖ローイングCLUB	9月24日10:00～16:00 25日10:00～16:00	障害者も安心して参加できる湖上スポーツ体験や、湖の魅力・大切さを伝えるイベント開催を通じて、多様な人の琵琶湖への好奇心を喚起することを目的として、びわこ競艇場で、湖上スポーツ体験会の開催、スペシャルステージとKBS京都ラジオ公開生放送、湖学習などのイベントを行なう。来場者見込み4,000名。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
73	京都府	京丹後における海洋スポーツ体験会の開催	ビーチスポーツフェスティバルin京丹後実行委員会	7月9日8:00～16:00	京丹後市で子どもたちのビーチへの定着、地域内外交流人口の増加、年中にぎわう美しい砂浜海岸を目指し、京丹後市夕日ヶ浦海岸にて、3,000名の子供参加者を対象にビーチバレー、ビーチ相撲、ビーチフラッグ等のビーチスポーツを実施する。
74	京都府	海・森の京都 未来っ子プロジェクト	海の京都未来っ子プロジェクト実行委員会	7月30日(オープニング・100名) 8月～10月(うち4日間で体験合宿・20名) 11月13日(パネルディスカッション、成果発表会・100名)	中丹地域への関心や郷土愛を高めるため、小学生、中学生、高校生、大学生が、地域の住民と協力して海、水産物、農業等について宿泊を通して学習する。最後にパネルディスカッションや成果発表会を行い、学んだことを発信する。
75	大阪府	大阪と神戸の小学校の授業におけるクルーズ体験と海洋学習	関西交通経済研究センター	7月1日8:00～16:00(大阪・約200名) 7月7日8:30～15:30(神戸・約140名)	小学生に海の大切さと海の魅力を知ってもらい、海洋についての理解と関心を深めてもらうことを目的に、大阪、神戸の小学校の授業としてそれぞれ大阪港内、神戸港内のクルーズや学校の授業における海・船の環境学習や体験型見学会を実施する。
76	大阪府	みさきの海のまちづくりイベント	深日港活性化イベント実行委員会	6月26日10:00～15:00 7月31日10:00～14:30 8月4日8:00～17:00 8月21日10:00～16:00	港や自然海岸などの海に関係する地元の資源の活用法について、地域住民に周知啓発し、海を身近に感じてもらうことを目的に、大阪府で唯一自然海岸が残る地域である岬町や、青少年海洋センターにて、延べ3500名の子供たちを対象に船やヨットのクルーズや乗船見学会、漂着ゴミの分析等を実施する。
77	大阪府	茶屋町・海と日本プロジェクト	茶屋町・海と日本プロジェクト実行委員会	7月17日、18日 11:00～17:00 30日13:00～15:00 7月30日	大阪市北区茶屋町にて、子供たち・若者にメディアアートを通じて海を学ぶ機会や、海を自ら映像で表現する機会を提供するため、子供たちが各々にとっての「海」を映像で表現するワークショップ型コンテスト(参加者約40名)や、VR回転寿司を使った魚の学習及び双方向型の作品展示会(参加者約2,000名)を実施する。
78	兵庫県	2016 親子で学ぶ「神戸みなと塾」の開催	神戸グランドアンカー	5月28日10:00～15:00	子どもたちを中心とした神戸市民に海への親しみや理解を向上させ、神戸の港を活かした次世代のまちづくりにつなげることを目的として、神戸港中突堤周辺で、神戸港学生会や船内見学会(300名)、親子で学ぶ神戸みなと子ども塾(親子120名)、活動報告会(5,000名)などを実施する。
79	兵庫県	神戸・海に親しむイベント	神戸開港150年記念事業実行委員会	7月24日ほか随時	神戸港が2017年に開港150年を迎えるにあたり、神戸港にて若い世代を中心に海への関心を深めることを目的に、官公庁、海事関係団体、貿易関連団体、教育委員会等が連携して小学生を中心に乗船体験や海に関する学習、地元の港について発信する新聞の作成等を行う。
80	兵庫県	須磨海岸・海の日サポートプログラム事業の実施	スマハマナツイチ実行委員会	7月18日～8月14日の 8:00～14:00 (開催日・開催時間調整中)	兵庫県須磨海岸で次世代を担う子どもたちを中心に、「海の寺子屋」と銘打ち、海に関する知識向上のため、約2,000名の親子の参加者を対象にライフセービング体験や、神戸の海の歴史教室、ヨット・ボートなどのマリンスポーツ、海の職業体験など様々なイベントを実施する。
81	兵庫県	海でつながる未来と海峡フェスティバル	海でつながる未来と海峡フェスティバル実行委員会	7月9日13:00～16:00 (環境学習、漁体験等) 7月23日13:30～16:30 (海冒険講演会、体験クルーズ)	将来を担う子ども達に明石海峡沿岸地域の文化や漁業を軸とした海の重要性を再認識してもらうことを目的に、神戸大学教授による海の環境学習、漁体験(親子250名)、堀江謙一氏による「海冒険講演会」(親子300名)や体験クルーズを実施する。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
82	和歌山県	白崎における海の学校の開催	SHIRASAKI OCEAN PARK Marine Expo'16 海の学校実行委員会	7月16日9:00~17:00 (各種イベント・延べ3,000名) 8月~11月(海のアート展・来場予定者3000名)	海の恵みに感謝し、そこで仕事をする方々への理解を深める機会を創出するため、和歌山県由良町にて、海ゴミを使ったアートとその展示、漁体験、サンゴ学習、ビーチクリーン等を実施する。
83	鳥取県	海上アスレティック及び学習会の開催	鳥取ウォーターパーク実行委員会	①7月18日9:00~17:00 7月23日、30日、8月6日、11日9:00~12:00 ②7月24日、31日、8月7日	地域の子どもたちの「海」に行きたいという気持ちをかきたてるため、以下の事業を実施する。 ①海上にアスレティックを設置し、海に関するセミナーとアスレティックをセットにした事業を実施する。(各回約100名×4回) ②地域の海の幸を知るセミナーとウォーターパークを利用した地域の海の幸当て競争(各回約100名×4回)
84	鳥取県	海と日本プロジェクトinとっとり	海と日本プロジェクトinとっとり実行委員会	7月23日~8月6日	「とっとり今昔写真プロジェクト」 住民が県内3地域の過去の沿岸の写真を持ち寄り、若者とともに同じ構図で現在の写真を撮影して、今昔の海の景色を見比べながら交流を図るプログラムを沿岸の3地域で各1日ずつ実施する。
85	島根県	Hamadaマリン郷育プロジェクト(海でつながる)	Hamadaマリン郷育プロジェクト実行委員会	7月18日 (瀬戸ヶ島周辺海域) 6月~11月 (学校内)	浜田市の宝である「海」を通して、子ども達にふるさとへの愛着や誇りを持ってもらうことを目的に、約50名を対象に自然体験活動や、カヌーといったマリンスポーツなど様々な活動を実施する。また、学校の授業としても教員向け、生徒向けにそれぞれマリンスポーツの体験教室を実施する。
86	島根県	隠岐諸島に関する体験学習会の開催	隠岐・海・ヒト・交流促進事業実行委員会	8月20日~21日 9:30~17:55	西ノ島町の海、自然、船等を活用してより多くの人に地域の海を周知することを目的に、子供たちを対象とした乗船体験やシーカヤック体験、西ノ島町「海の駅」周辺での交流イベント等を実施する。
87	岡山県	海と日本プロジェクトin岡山	海と日本プロジェクトin岡山実行委員会	7月中旬~8月	「海と共に生きること~笠岡諸島しまめぐりツアー~」 海と密接に関わる職業、地域について学ぶことを目的に、県内の高校生20名を対象にした笠岡諸島の島での暮らし体験と島民へのインタビュー取材を組み合わせたプログラムを実施。学んだ内容を人と海との関わりという観点でまとめシンポジウムで発表するほか、ラジオ放送も行う。
88	岡山県	おかやまビーチスポーツフェスティバル2016	おかやまビーチスポーツ協会	9月18日9:00~15:00	ビーチスポーツを通じた、海辺の文化、歴史の継承、健康の促進を目的に、自治体、教育委員会、観光協会等と連携し、日本代表選手の協力の下、およそ300名の子どもを中心に、海辺のクリーン活動やビーチスポーツを行う。
89	岡山県	瀬戸内の海ごみ減量化に向けた体験学習会	水島地域環境再生財団	7月24日10:00~14:00 11月12日10:00~14:00 (寄島町漁業協同組合) 7月18日13:30~16:30 (倉敷市環境学習センター、児島通生海岸)	瀬戸内海の問題について地域の子供たちに考えてもらい、行動するきっかけを作るため、のべ約90名を対象に底引き網漁法の体験、海辺の生き物の観察、海岸清掃活動を実施する。
90	岡山県	高校生による宇野港活性化事業の実施	UNOICHI実行委員会	7月16日 8月21日 10月30日 10:00~15:00	玉野市にて高校生が主体となり、地元の港から海の素晴らしさ、繋がりを発信することを目的に以下の事業を実施する。(参加者見込み3,000名) a.海の学習(ロープワーク・海図の読み方、海保の船に乗船し海の仕事を学ぶ) b.3x3バスケットボール c.海を背景にした突堤で、来場者を描き、海の良さを伝えるデッサン教室の実施 d.『船と島の魅力』をテーマにトークセッションを実施 e.島の巡回(乗船中に勉強会を実施)

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
91	広島県	海洋観光学大学瀬戸内 キャンパス研究大会の実 施	海洋観光学大学瀬戸 内キャンパス実行委 員会	①9月16日(研究発表) ②8月上旬(2泊3日)	①観光資源でもある海を国内外にPRするため、大学で観 光系を専攻している大学生が瀬戸内を中心に様々な旅行 プランを企画、発表する。最優秀作品はツアーとして販売さ れる予定。 ②高校生を対象とした地域の海を知る宿泊ツアーを行い、 次世代の海を担うオピニオンリーダーを育成する。
92	広島県	小中高校生を対象とした 海に親しむ島人育成プロ ジェクト	瀬戸田海洋スポーツ 体験実行委員会	7月～9月	子供たちに広島県の海に行き、地域と海の関わりを実感して もらうため、遠泳大会、乗船体験、ヨット、カヤック、ロー ボート乗船体験(約70名)や海をテーマとした教育プログラ ムの試験的実施(約50名)等を行なう。
93	広島県	瀬戸内ど真ん中 大久野 島と忠海を満喫	みなとオアシスただ のうみ協議会	①6月26日9:30～12:00 ②10月16日9:00～12:00 11月13日9:00～12:00 ③10月16日9:30～15:30	地元瀬戸内海の生物、環境について子供に体験してもら うため、以下の事業を実施する。 ①竹原市大久野島における清掃活動、浮き桟橋学習、う みほたる学習等(約50名) ②竹原市忠海港付近大久野島における浮き桟橋観察会 (約40名) ③いっぺんきん祭における海のパネル学習、啓発ツール 配布(約1,500名)
94	広島県	大崎上島・わんぱく塾 2016の開催	大崎上島シーカヤッ ク	①7月(大崎上島町) ②7月16日10:00～22:00 7月17日6:00～17:00 7月18日6:00～17:00 (大崎上島町大串海岸キャン プ場)	子供たちに地域の海を体験し、海と生活の関わりや海の安 全について学んでもらうため、以下の事業を実施する。 ①海の日イベント開催セレモニー(約50名) ②潮の満ち引きや水平線等に関する学習、シーカヤック体 験、海上安全教室、海水を使った食事作り体験等(約80名)
95	広島県	海と日本プロジェクトin広 島	海と日本プロジェクト in広島実行委員会	7月～10月	「きんさいHIROSHIMA! 外国人向けオリジナルガイドマッ プ作成」 広島県の海を県内外に広くPRするため、県内の小中学生と 広島大芸術学部の学生の連携チームが主体となり、瀬戸 内海に関連する観光スポットで構成された英語ガイドマッ プを作成し、県内各所で配布。 ※8月にマップ作成のための特別臨海学校(1泊2日)を開催
96	広島県	呉港における海・船に関 する理解促進	呉港振興会	①7月20日～9月30日 ②8月4日9:00～11:30、8月 20日8:50～11:00 ③6月8日～12月20日 ④8月21日10:00～17:00	呉港の魅力地域の子供たちに伝えるため、以下の事 業を実施する。 ①呉港啓発パネル展示 ②ジャパンマリユナイテッド、海上保安大学校における船 の仕組み、訓練、巡視船等の見学(160名) ③呉市内小学校10校における海に関する出前授業 ④クルーズ船「銀河」にて港に関する講座、船内見学、救 命胴衣着脱体験、学生による呉港周辺の活用に関するプ レゼン(親子450名)
97	山口県	海に学ぼう「くつつきから 覗く海の世界」	下関海洋科学アカデ ミー	①7月23日～11月23日 ②9月3日12:00～15:00、 17日12:00～15:00 10月15日12:00～15:00(計 3回)	山口県内の子供を中心に海の生物に興味を持ってもら うため、県内の海を学べる施設と連携して以下の事業を実 施する。 ①下関市立しものせき水族館にて海洋生物に触れ合える 夏季特別企画展「ガチッ!ピタッ!ギョッ!くつつく海の生 物展」の開催(来場者200,000名) ②下関市長府関見台公園にて磯に住む生き物の観察とス ケッチを行う「磯の観察会」の開催(各25名、計75名)
98	山口県	ぶちおもしろい!遊んで 学ぶ岩国っ子うみまつり	岩国港「海の日」協 賛会	①7月16日 13:30～16:00 ②7月17日 10:00～11:30 14:00～15:30 7月18日 10:00～11:30 ③7月11日～15日のうち2 日間	山口県の海岸、船について子供たちに体験し、学んでもら うため、以下の事業を実施する。 ①岩国港の木埠頭にて大島丸一般公開(計300名) ②岩国港の木埠頭にて中学生を対象とした練習線大島丸 の船内見学、ロープワーク体験、手旗信号学習(計300名) ③飛鳥II元船長による美和中学校、玖珂中学校、周東中 学校、岩国西中学校への訪問講演会(計300名)

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
99	山口県	海と日本プロジェクトin実は海口	海と日本プロジェクトinやまぐち実行委員会	①ハッカソン 7月24日 13:00～ ②運動会 7月31日10:00～ 14:00	「海口県から未来の海の運動会」 山口情報芸術センター(YCAM)との連携のときらら浜(山口市阿知須)にて、参加者30人で海辺の新たなスポーツを開発するハッカソンを開催。翌週、新たなスポーツで構成された運動会を200名の参加のもと実施。
100	山口県	下関海の日記念イベント	下関海の日協賛会	①7月17日、18日11:00～ 20:00 ②5月～11月(計4回) ③夏休み中(計1回)	下関の海、船の魅力を地元の子供たちに伝えるため、以下の事業を実施する。 ①客船につぼん丸の寄港にちなんだ交流会、子供体験航海(関門海峡クルージング)、水産大学校練習船一般公開(調整中)計5,000名 ②学校の授業で、国際フェリーやターミナルの見学を通じて港湾業務を学ぶ。 ③海と港を学ぶ小学生バスツアー(親子50名) 海と港など海洋関係を広く学ぶためにバスツアーを実施。
101	徳島県	海と日本プロジェクトinとくしま	海と日本プロジェクトinとくしま実行委員会	7月～8月	「とくしまの海を学ぼう～出羽島体験学習ツアー～」 小学生60名を対象に、車のない小さな離島・出羽島にて海と密接に結びついた漁業、加工、環境などの生活体験プログラムを実施。学びを壁新聞にまとめる他、代表者がラジオ番組で発表する。
102	香川県	海と日本プロジェクトinかがわ	海と日本プロジェクトinかがわ実行委員会	作品制作 8月11日 展示 8月12日～14日	「目指せ!海ごみアーティスト」 小学生50名が、地域の漁協と共に海ごみ回収活動と瀬戸内の魚についての学習を実施。その後、拾った海ごみを用いて作家のコーディネートのもと作品を作成。作品は制作した小学生たちによる海へのメッセージと共に、さぬき高松祭り(高松市中央公園)にて展示。
103	香川県	海ごみ発生抑制に係る体験型環境学習会	海守さぬき会	7月1日～8月31日のうち 1日間	香川県の海を次世代の子供たちに繋げるため、「故郷(ふるさと)の海レスキュー隊計画2016」を実施(参加者約50名)。海の環境変化、海ゴミ問題について学んだ上で実際にゴミ拾いを行う。また、地元の漁の見学も行う。
104	愛媛県	海と日本プロジェクトinえひめ	海と日本プロジェクトinえひめ実行委員会	7月29日8:30～19:30	「夏休み!えひめの海を学ぶ自由研究ツアー」 小学生100人および保護者50名が、県の基幹産業である水産業、海運業等の職場を体験しながら学ぶツアーを開催。学びをかまぼこ板に描くワークショップを実施するほか、子供たちがラジオ出演をして学びについて発表する。
105	愛媛県	愛媛県南予地域体験クルーズの実施	海の産業観光推進実行委員会	8月27日	地場産業の魅力や海の大切さを子どもたちに認識してもらうとともに、海の恩恵を再認識してもらうことを目的に、企業と連携し、以下の2種類のイベントツアーを行う(参加者親子200名)。 a.宇和島コース (イ)宇和海・海の恵みクルーズ (ロ)真珠養殖&アクセサリー加工体験 (ハ)じゃこ天加工場体験 b.八幡浜コース (イ)魚市場見学体験 (ロ)ジオクルーズ (ハ)トロール基地おしごと見学
106	高知県	海と日本プロジェクトin高知	海と日本プロジェクトin高知実行委員会	6月～9月	「ジョン万宣言!ジョン万次郎漂流記体験」 土佐清水市の10の小学校から生徒を選び、幼少期の漁業体験、漂流(黒潮学習)体験、米国での勉学(造船学習)体験など偉人の生涯をたどる海の教育プログラムを実施
107	福岡県	海と日本プロジェクトinふくおか	海と日本プロジェクトinふくおか実行委員会	8月～10月	「親子海の道むなかたウォーク」 世界遺産登録国内候補地であり、海と深い関わりのある文化を持つ宗像地域で、文化を未来へ継承するためにできることを考える体験学習ツアーを親子対象に実施。子供たちが学んだ内容はラジオ番組を通じて地域へ発信する。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
108	福岡県	子ども達によるオリジナル大漁旗制作等	太宰府アートのたね	7月16日、17日10:00~16:00 7月18日9:00~17:00	漁民文化から生まれた芸術品である大漁旗について、その意味や込められた思いについて知るために、約70名の子ども達によるオリジナル大漁旗制作と漁師体験・地引網体験を開催する。
109	福岡県	スノーケリングを通じて学ぶ水中環境in福岡	ふくおかFUN	7月26日9:00~13:00 8月5日10:00~13:00 8月29日10:00~13:00 8月31日9:00~13:00	地元福岡の海の環境や、海の汚染の原因などについて、体験を通じて学ぶため、福岡市西区小戸公園および糟屋郡新宮海水浴場にて以下の事業を実施する。 ①スノーケリング体験を通じた環境学習 ②博多湾の生物や海藻、水中環境に関する生物多様性及び環境問題の授業実施
110	佐賀県	唐津湾キャッスルベイウィークの実施	唐津市海の日サポートプログラム実行委員会	5月~8月	海の日を中心とした期間を「キャッスルベイウィーク」として、海辺で活動する団体や行政等が連携し、若者や子供達に海への関心を高めることを目的に、唐津市で海の日海事関係展や呼びみなとまち歩きラーニング、唐津海遊塾、レガッタ大会など様々なイベントを実施する(計1,500名)。また、ポートレース場と連携したイベントも実施する(約13,000名)。
111	佐賀県	海と日本プロジェクトin佐賀	海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会	7月17日10:00~16:00	「Enjoy! 有明海 ~体感しよう2つの海~」 有明海・玄海二つの海を舞台に、食文化、伝統漁法、環境等の観点から子供、大人向けに各種体験学習プログラムを展開。あわせて、有明海と玄海の調査を行っている中高生によるサミットを行なう。
112	長崎県	大村湾海の日ふれあいイベントの実施	海フェスタ大村実行委員会	8月7日10:00~21:00	大村湾の豊かな恵みを感じ、海との繋がりを深める契機とするため、ポートレース大村(約2500名)や松原海水浴場(約500名)で水上スポーツ体験、カブトガニ調査見学、無人島上陸体験等様々なイベントを実施する。
113	長崎県	海と日本プロジェクトinながさき	海と日本プロジェクトin長崎県実行委員会	①7月末~8月 計10回 ②6月~9月 計5回	①「長崎海のちゃんぽん講義」 水産、開発、環境、伝統文化など異業種の海のキープレイヤーによる対談形式の講座を長崎ペンギン水族館にて各回120名を対象に計10回開催し、海の魅力を「ちゃんぽん」として発信する。 ②海の出前授業 県内の小学校計5校に、長崎の海のエキスパートと他エリアからの講師を派遣。身近な海と他の海との比較することにより、海の面白さ、不思議を発見する授業を実施。
114	長崎県	海洋エネルギーの学習会の実施	五島市海の日実行委員会	7月14日8:45~16:00	五島市の海において海と触れ合えるイベントを実施し、子どもたちが海の大切さを理解することを目指し、浮体式洋上風力発電・燃料電池船の視察体験など小学生と理科教諭約70名が参加する海洋エネルギーの学習会を実施する。
115	長崎県	長崎海洋大使・海外先進地派遣 & 海洋産業キッズフェスタ in 長崎	長崎海洋産業クラスター形成推進協議会	7月10日~16日	長崎の海洋産業を担う人材の発掘・創出・育成を目的に、高校生、大学生ら「長崎海洋大使」8名をスコットランド、デンマーク他海外先進地に派遣。現地の洋上海洋再生エネルギー工学研究所学生との交流や、洋上風力発電と漁業など既存海洋産業との共存状況の把握を行なう。また、海洋産業キッズフェスタを開催し、およそ1,500名の参加者に対し、ミニ風力発電政策ワークショップや海洋産業関連の模型展示などを行なう。
116	熊本県	海と日本プロジェクトinくまもと	海と日本プロジェクトinくまもと実行委員会	6月~9月	「天草五橋開通50周年、海明かりが人と人を繋ぐ」 「海あかりが人をつなぐ」をテーマに、天草地域に想いを馳せながら竹あかりを制作するワークショップを計5回実施。講師は東京芸大教授でアーティストの日比野克彦氏、天草出身の小山薫堂氏、竹あかり演出家の三城賢士氏と池田親生氏など。その後9月に竹あかりで五橋と海を彩り、2,000名が橋の上で手をつないでギネス記録へ挑戦する等の内容を含んだメインイベントを実施する。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
117	熊本県	熊本港フェスティバル2016	熊本港フェスティバル実行委員会	7月17日、18日	有明海の魅力を後世に引き継ぎ、海に関する意識啓発を図り、地域を含めた魅力あるみなとまちづくりに貢献することを目的に、海で遊ぶ！学ぶ！つながる！熊本港フェスティバル2016を開催し、クルーズ体験、コンテナヤード見学会やライフセイバーによる応急救護デモンストレーション、レスキュー体験といった様々な活動を行なう(約20,000名)。
118	大分県	海と日本プロジェクトin大分県	海と日本プロジェクトin大分県実行委員会	7月下旬～8月	「豊の国うみっこ塾～大分の海的环境保全～」県内のみどりの少年団に加入する子供たち50名を対象として、大学教授と行う森川海の連環の実験や、水族館うみたまごでの海の生物多様性の学習、海上清掃船での海ゴミ学習等の一連のプログラムを実施。学びを「海への誓い」として県内のみどりの少年団大会で発表。
119	大分県	「鶴見半島エココースト・フェスタ2016」の実施	おおいた環境保全フォーラム	7月～9月	鶴見半島地域の海と森と人の関係を再構築するきっかけ作りを行うことを目的として、ウミガメや環境の学習会、ダイバー・漁業者等との海岸及び海中清掃活動、ライフセイバーによる子ども着衣泳教室など様々なイベントを実施する。(計約600名)
120	宮崎県	森と海のあいだのアカデミー(限界集落市木地区の海から子どもたちといっしょに育つ場づくり)	森と海のあいだのアカデミー	5月～12月	宮崎県串間市市木にて子どもが海と日常的につながる仕組みを作るため、以下の事業を実施する。 1.海の日シンポジウム 文化人類学者、海洋環境研究者等のパネルや、市木小学校の児童・生徒による下記2の出版発表、海を英語で学ぶ合宿プログラム等 2.参加型拠点建築 海で学ぶ拠点・海小屋を広場に建築。地域材を使用し、週1回地域の親子の参加を得て実施。 3.森と海のあいだの図書館・出版 海に関する多様な本を常備する図書館を小屋に設置。小中学生の参加のもと『ぼくらの海じまん』を制作・出版 4.未就学児との「海のようちえん」 海で遊ぶ自主保育を週1回提供 5.海のこどもかい 地域材のサーフボードづくりや国内外の講師による海のお話等を毎月開催 6.与那国馬との学童保育 週2回、海で泳ぐ与那国馬との学童保育を実施
121	宮崎県	海の日に向けた小学生を対象とした「海の博士」認定プロジェクトと海のオリンピックJrプロジェクトの実施	宮崎大学	①4月～7月の第二、第四土曜日(計10回) ②7月18日	地域の海を理解し、地域で活躍できる次世代の子ども達の育成を目的に、以下の事業を実施する。 ①海について総合的に学ぶ海の博士プロジェクト(各回30名、計300名)と将来のオリンピックを目指した海のスポーツプロジェクト(各回30名、計900名)の並行開催 ②「海の運動会」(約100名) マリンスポーツ(SUP、サーフィン)の実技試験、博士養成プログラムの修了試験等
122	宮崎県	夏休み子ども教室の実施	トトロ海洋クラブ	7月25日～8月31日 7月25日～7月29日 8月1日～8月4日 8月8日～8月11日 8月22日～8月25日 8月29日～8月31日 全日程9:00～17:00	体験活動を通して子どもたちの海への興味・関心を深めることを目的に、宮崎県延岡市土々呂公園管理棟、土々呂浜でマリンスポーツ(シーカヤック、シュノーケリング等)、ビーチコーミングや海の生物観察等様々なイベントを実施する。親子を中心に400名が参加予定。
123	宮崎県	海と日本プロジェクトin宮崎県	海と日本プロジェクトin宮崎県実行委員会	6月～10月	「日向灘を体感!宮崎オーシャンキッズ」 県内の小中学校5校に研究者、ダイバー、水中カメラマン等が出前授業を実施。学んだことを踏まえた作文を元に、各校から4名ずつを選抜し、宮崎オーシャンキッズを結成。日向灘にてオーシャンキッズ20名で1泊2日の海の体験活動を実施した後、子供たちが宮崎の海に関する学びを発信する。

海と日本プロジェクト2016サポートプログラム(日本財団)
事業一覧

合計125事業(43都道府県)

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
124	鹿児島県	海と日本プロジェクトin鹿児島	海と日本プロジェクトin鹿児島実行委員会	①ブース出展 7月20日、21日 18:30～21:30(MBC夏祭り会場内) 親子料理教室 8月 ②募集期間 6月22日～10月31日	①低利用・未利用魚の周知事業 市場に流通しない魚種を串揚げ等にする「浜串」をブース出展。また低利用魚・未利用魚を用いた親子料理教室も開催する。 ②鹿児島マリンムービーマップの作成 「あなたが多くの人々に知ってほしい鹿児島の海のあらゆる姿」をテーマに県内の海に関する映像を広く一般から集め、優秀作品を表彰する。 ※8月1日に学生を対象に映像制作のワークショップを開催
125	沖縄県	海と日本プロジェクトin沖縄(海でつながる)	海と日本プロジェクトin沖縄実行委員会	未定	沖縄美ら海水族館と連携し、子供たちに沖縄の海の素晴らしさを伝える教育プログラムを実施する。(詳細企画中)

1. 海と日本プロジェクト 協賛団体一覧

公益財団法人 海上保安協会
一般社団法人 海洋産業研究会
全日本海員組合
一般社団法人 大日本水産会
公益社団法人 燈光会
一般財団法人 日本海事協会
公益財団法人 日本海事センター
公益社団法人 日本海難防止協会
公益社団法人 日本観光振興協会
一般社団法人 日本港運協会
公益社団法人 日本港湾協会
公益社団法人 日本水難救済会
一般財団法人 日本水路協会
一般社団法人 日本船主協会
一般社団法人 日本倉庫協会
一般財団法人 日本造船技術センター
一般社団法人 日本造船工業会
日本内航海運組合総連合会
一般財団法人 日本舶用品検定協会
一般社団法人 日本旅客船協会

(五十音順)

2. 海と日本プロジェクト 協賛団体によるプログラム・事業の一覧

	地域	行事名	実施団体	期間	内容
1	青森県	第18回全国水産・海洋高等学校カッターレース全国大会	全国水産高等学校長協会	7月23日～24日	カッター競技を通じて、水産教育の重要性を広く一般的に広くアピールする。
2	全国	灯台絵画コンテスト	(公社)燈光会	募集:6月上旬～9月5日 表彰:11月1日	全国の小・中学生を対象に「灯台のある風景」として絵画を募集し、平成28年11月1日の灯台記念日に入賞者の表彰式を実施するとともに、記念日祝賀会に招待する。
3	全国の臨海道府県	若者の水難救済ボランティア教室	(公社)日本水難救済会及び地方水難救済会	7月～8月	7～8月の夏休み期間を中心に主として、全国の小中学校約50校の児童生徒を対象に自己又は他人の救助や応急手当に関する知識技能を習得させるため、海上保安官等から実地指導を受ける。
4	全国	船ってサイコ～2016『せんきょう夏休みキャンペーン』他	(一社)日本船主協会	7～8月	「海の日」を中心として、海運の重要性に対する一般の理解を深めることを目的に次の各種事業を行う。 ①一般の方があまり間近で見ることが無い、外航商船(自動車専用船、コンテナ船他)等の見学会を、東京、横浜、名古屋、神戸をはじめ全国各地で開催する。また、関係団体等と連携して、造船所、港湾・海事施設等の各種見学会も開催する。 ②海運や船員の仕事への理解を増進するため、講演、セミナーや、商船高専と連携した進学ガイダンス等を開催する。
5	全国	海の日小学生運賃無料キャンペーン	(一社)日本旅客船協会	7月～8月	海洋国・日本の未来を担う子ども達に乗船体験の機会を提供し、もっと海に親しみを持ってもらいたい!そんな思いから日本旅客船協会では、2013年から「こどもの日」と「海の日」に「小学生の運賃を無料とするキャンペーン」を実施している。